

会 議 要 旨

会 議 名	令和7年度 第1回館山市社会教育委員会会議
開 催 日	令和7年7月8日（火） 午前10時00分から
開催場所	館山市コミュニティセンター1階 第1集会室
出 席 者	社会教育委員10名，教育長，教育部長，事務局7名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0 名
【会議概要・結果等】 1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 委員・事務局紹介：自己紹介で実施 4. 議長挨拶 5. 議事 (1) 令和7年度社会教育・社会体育基本方針と重点施策について 生涯学習課，博物館，図書館，中央公民館，スポーツ課，各課長及び館長より説明。 その後，質疑，意見交換。 【質疑応答・意見等】 (委員) 学校の統廃合について2点ほど。まず1点目。館山小学校は西岬小，豊房小と統合して館山小の校舎・校庭を使うということになっているが，校庭に生えている大木を全て切ってしまうという話であった。あの大木は暑い日には日陰になるし，全て切ってしまうというのは寂しいものがある。支障のない範囲で何本か残しておいてもらえたらと思う。 次に2点目。館山中の跡地利用について検討委員会で検討している。全体が大きすぎるため三分割による活用を考えている。その際に地域が自由にグラウンドを使っていくという考えはないか。 (教育長) 館山小の木の伐採については，館山小の敷地の水はけが良くないので次年度グラウンドの整備をしなければならない。グラウンドの水はけの関係で樹木のことがあるのかなと思うので，確認する。館山中の跡地利用については，市の企画課が担当している。考える会の皆さんの意見を聞きながら進めていると聞いている。社会教育に資するものとして何がしかに利用していただければ有り難いが，市民全体の公共財なので地域の皆さんの意見を取り入れながら話を進めている。 (委員) 生涯学習課で子ども対象の事業を担当している。先ほどの各課長・館長からの説明の中で子どもが参加できる事業はすごくいいなと思った。ますます子どもが体験できる機会を増やしていただきたい。今度の参議院選挙期間中，親子で投票に行くと投票所のところではっけん伝カードにスタンプを押してもらえる。自分の親が投票所で投票を行う姿を見ろというのは，将来的に政治に参加する権利を行使する大人を育てていく意味でもすごくいいなと思うのでこういった機会も増やしていただきたい。 (委員) 公民館や体育施設など集約化が進んでいる。今まで近くに公民館があったりして地域の方々が参加していたのだが，集約されて距離が遠くなってしまうと特に高齢者は「遠くなったからもう行かない」となってしまう。集約化に際しては，その点も考慮して話し合いをしていただきたい。	

（教育長）公民館の再編については既に各地区で説明等をして地域の方々の意見を聞いているところである。公民館は公民館法に基づいて設置されているもので、そこで実施できるものはおのずと縛りがある。何でもできるわけではない。隣の南房総市は公民館と名のついた施設は1館しかない。その代わり色々なことができるコミュニティセンターのような施設が点在している。何でもかでもなくしてしまうということではなく、今後の持続可能なあり方について考えていきたい。公民館法に縛られることなく、コミュニティセンター化なども考慮しつつ、館山市全体で考えていきたい。

（中央公民館長）今年5月に公民館再編の素案を定めた。素案の方向性について、大きく5つの視点で定めた。

- ① 市内を7つのブロックに分けて、その中で公民館を再編していく（北条・館山で各1，その他のブロックで5）。
- ② 学校再編に伴った空き教室を活用してコミセン化する。
- ③ 公民館の利用のフリー共通化。誰でもどこの施設でも利用できる方向性にしていく。
- ④ 廃止となる公民館については、地元との協議にはなるが、自主運営とした中で地元自由に使っていただけるような施設とする。
- ⑤ 再編となる空き学校の統廃合のスケジュールに合わせた再編のスケジュールを組んでいく。

（委員）館山地区公民館は館山で特色あるものを1年を通じてやっている。今コミセン化すると館山にあるものを九重の人が申し込んだらそれをフリーに使えるとなると地元の人が入れなくなってしまう。地域で20人くらいの運営は考え方を変えないといけない。どこでも楽しめる場所にするんだよという方針のようだが、足の無い老人は遠くの公民館へは行けない。再編はいいが活動内容の考え方を変えていかないと、高齢の方が増えてきた中で利用を妨げないような運営をするには、今までのような内容で活動は出来ないと思う。そういった人達を拾える施設となるような事業計画を考えて欲しい。

（中央公民館長）高齢者の方や足の不自由な方にとって距離感という話があったが、令和5年度に公民館の利用者に対してアンケート調査を行ったところ、自動車利用という方が多かった。距離的な部分は比較的カバーできているのかなと考えている。講座等の参加だとか地区の方が利用するといったところのフリー化、今後地区の方たちの利用が妨げられないような利用方法も考えていかなければならないと考えている。

（委員）今一度確認なのだが、館山と北条は地区公民館としての性格は残るのか？

（中央公民館長）名称自体も館山地区公民館、北条地区公民館として残すかどうかは議論の余地がある。

（委員）毎朝館山駅周辺の美化活動をしている。駐輪場で学生さんと挨拶をしている。昔はスマホを見ながら自転車に乗る学生が多かったが、最近はスマホをやめてちゃんと乗っている。朝、さわやかな挨拶が返ってくる。非常にうれしく思っている。

（委員）毎朝子どもの通学路の見守り隊をしている。歩道のない通学路の生け垣がすごく伸びてきており、子どもが路側帯から車道へはみ出て歩いている。特にカーブの所は危ないと感じている。地主さんをお願いして切ってくれるところはいいが、枝が張り出してそのままのところは雨の日などは道の真ん中くらいまで出なくてはいけない通学路がある。

（委員）学校でも管理職が実際に歩くところを見て回ったりして確認はしているが、勝手に切るわけにもいかない。

以 上